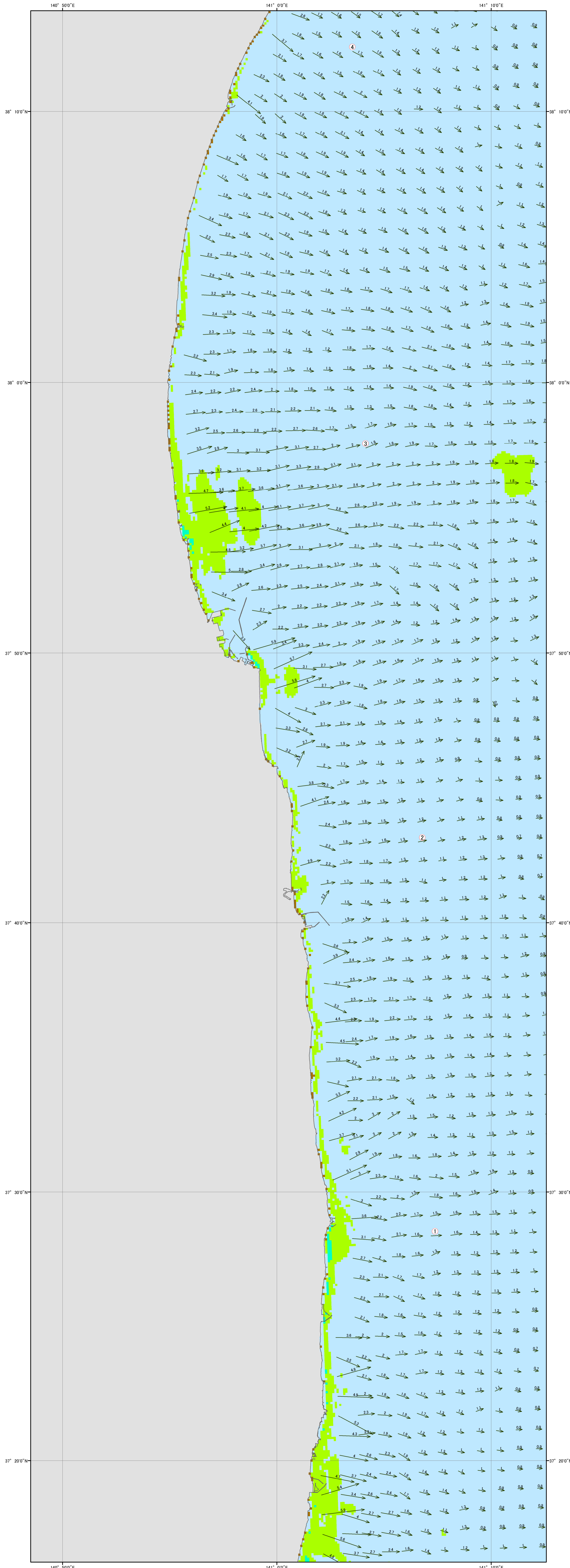


計算条件: 最低水面 (零位)
 隆起量: 平均 -0.01m(-0.01m ~ 0.00m)
 Zo: 0.88m
 備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系: マルカトル図法
 測地系: 世界測地系 (WGS84)

凡例

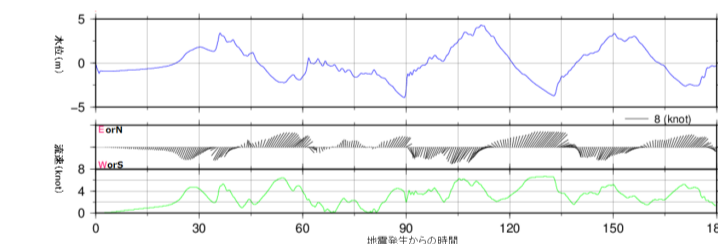
最大水位低下

- 3~最大3.9m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

経時変化出力点

(図上の位置における津波の挙動を時間の経時変化図で示す。)

① 水位・流向・流速経時変化図

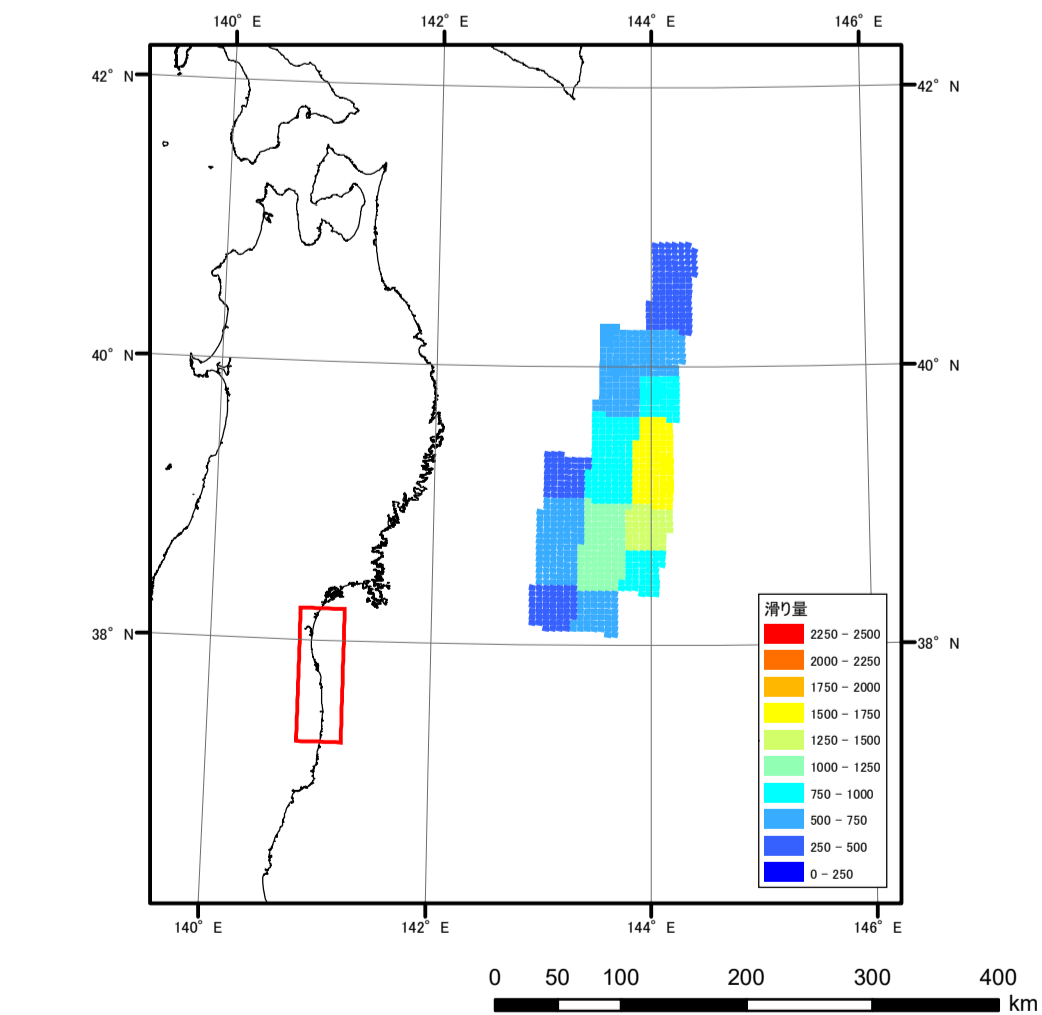


引潮時最大流 (knot)

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断面モデル



明治三陸地震

モーメントマグニチュード Mw 8.6

本断面モデルは、中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺型海溝地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ

作成機関: 海上保安庁
 防災情報作成年月: 平成29年12月 (初版)
 地図データ作成年月: 平成29年1月 (初版)